



### 図画・ポスターコンクール1次審査

7月19日(水)午後1時より「美唄市教育委員会」の1室において「平成18年度北海道歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の1次審査が開催されました。

美唄市教育委員会関係者・美唄歯科医師会役員（小森会長、村上の2名が参加）により力作が集まるなか、審査が行われました。当地区からは過去に全道大会において上位入賞作が選ばれており、今回も素晴らしい作品が集まりました。そのなかから低学年・高学年の部よりそれぞれ5点の入賞作品が選ばれ、全道大会へと進むこととなりました。良い結果となりますように。

なお、今回は学校間に取り組みの差が大きく見られたので、次年度は当会としてもより一層アピールをし、参加校・児童数を増やせたらよいと思います。

(村上孝男記)



## 市民ふれあい祭り

7月23日(日)午前10時より「美唄市総合福祉センター駐車場」において、恒例の市民ふれあい祭りが開催され、隣接する保健センターにて美歯会は歯科コーナーを設けました。

当日は孫先生と私・よしむら歯科から2人・なめかわ歯科より1人の衛生士の計5人で歯科ドック(口臭測定・RDテスト・だ液潜血テスト・咬合力測定など)を行いました。人数は少ないなりに会場展示に工夫を凝らし、子供向けに紙芝居なども交えながら来場者に「お口の健康」の重要性をアピールいたしました。

結果として43人の来場者がありました。この数は例年より少ない数ではありましたが、内容的には充実していた1日でありました。

昨今他郡歯会でもこのようなイベントでの参加者の数が話題になりますが、人口3万人に満たない美唄ではこの数字は多いのか少ないのか。

来場者を増やすためのアイデアとして、早い時期からの市民に向けた事前広告やフッ化物塗布な



どの導入なども考えなければいけない時期にきているのでしょうか。このようなイベントは市民に歯科受診の必要性を訴えるいい機会でもあり来年以降への検討課題でしょう。

休日にもかかわらず小森会長・大坪副会長そして会場準備など終日手伝ってくださった事務の近藤さんが応援に駆け付けてくださいました。

また、当日ご協力いただいた皆様本当にご苦勞様でした。また来年頑張りましょう！

(滑川貴彦記)

## 美歯会ホームページに音声導入

美歯会では平成14年にHPを立ち上げてから一般市民向けには、美歯会各種行事のご案内並びに、その結果のご報告をし、公衆衛生活動の周知宣伝に努めてきましたが、本年度市民ふれあいまつり(歯科コーナー)開催のご案内を従来の美唄新聞掲載のほか、ホームページ上で音声を用いて行いました。

活字のみではなく、音声化・動画化はWebアクセシビリティからして必然の流れですが、その第一歩を踏み出したところ。当地は専門のFM放送がないため、道歯作製の周知spotなどご紹介できず、残念に思っておりましたが、これもコーナーを設け、誰でもがいつでも聞けるようにすることができました。

また会員向けコーナーでは、すでに週2~3回、適宜メールを配信することにより、会と会員との垣根を取り除くよう、努力しているところですが、ここも、第191回代議員会での富野道歯会長の冒頭挨拶をそのまま聞くことができます。

就任1年目のご挨拶、その意気込みからして中味が濃いと判断し、生の声を直接ご紹介することが大事と判断した訳です。また今般の点数改正は混乱を極めたあとだけに疑義解釈の正確な解説は重要であり、7月8日(土)北海道保険医会主催の第2次点数改正での厚労省疑義解釈(その2)、(そ

の4)の解説は十分参考にすべきと考え、ご了承のもと、音声で聞くことができるようにしました。

点数請求はドクターのみわかっているだけで、各種文書作成発行やレセプト摘要欄の記入の増加など受付・事務まで巻き込んでのものであり、院長経由の情報伝達が必ずしも正確である保証もない以上、直接詳しい知識の方の音声による伝達は、正確さを期す上で極めて重要といえるでしょう。

先般、日歯の大久保会長の関東地区歯科医師会役員連絡協議会での講演のWebでのご紹介は、日歯も変わりつつあることをしめしている。

講演前日の道歯からのFAXの連絡ののち、翌朝即座に会員に伝達できたのはおそらく、美歯会だけだったのではなかろうか。会員が聞く・聞かないはともかく、迅速に対応できたことは自負できるし、道歯も音声や動画をすぐにも導入しなければならないことを示唆している。そんななかでの9月からの道歯からのメール配信は、その第一歩として大いに期待できる。

かくして時はWeb2.0の時代にして、私達はたえずかわらなければならず、かわることが必要なのはひとり民主党小沢代表だけではない。

美歯会HPはユーザーフレンドリーを基本に変わり続けるだろう。

(小森英世記)